

## 全体外観



緑豊かな環境に恵まれた平屋建ての建物。一般道と施設を隔てる壁はなく、伝統ある家屋や商家が残る地域の町並みに溶け込んでいる。

## 全体平面図



平屋建ての施設は、介護を想定したAユニットと自立を想定したBユニットに分かれている。敷地内の中心部分に公共の道「なかみち」を設け、地域住民も自由に敷地内に入れるつくりとなっている。

## Bユニット 介護ユニットバス



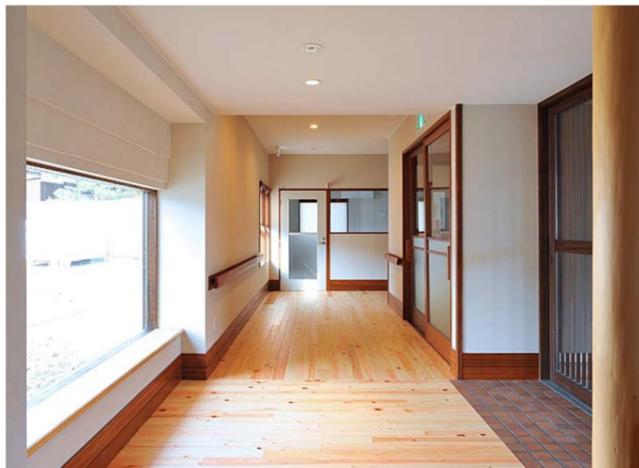
Bユニットの浴室は、自立の方と介護が必要な方、双方ともが安全に使えるように介護のしやすさと使い勝手に配慮した介護ユニットバス(1600×2000mm)に、座りながら入浴できるベンチを設置。

## リビングルーム



屋内は、全体に視線の先に窓が来るように計画されている。食事をしたり、回らんを楽しむことができるリビングルーム。温める程度の簡単調理や食後の血洗いができるように、キッチンを設置している。

## 廊下



写真奥の管理人室からは、玄関、Aユニット、Bユニットの廊下を見渡すことができる機能的なレイアウト。入居者が安心して暮らすことができる。

## Aユニット 車いす用トイレ



便器詰まりに配慮して掃除口付便器を設置。ウォシュレットのリモコンは、介助者の使いやすさを考慮して高めの位置に設置し、便器横方向からのアプローチがしやすいように入口は後方に設けている。

## カフェ・ショップ花鈴 外観



敷地内に同時オープンした「カフェ・ショップ花鈴」。地域住民との交流の場として併設され、カフェと着物のリサイクルショップ、着物のハギレを利用した小物の製作を行う工房で構成されている。

## カフェ・ショップ花鈴 トイレ



カフェ・ショップ内のトイレは、車いすでも使用しやすいスペースが確保されている。手すりは菜の花ホームBユニットと同様の配置となっており、一般の方ももちろんホーム入居者も安心して利用できる。

## Bユニット 車いす用トイレ



手すりの設置は、車いすから便器に移乗する際にL型手すりの横部分、便器からの立ち上がりが高い位置の横手すりを使うという検証結果を反映。Aユニットと同様、便器詰まりに配慮した掃除口付便器を採用。

## Aユニット 個別浴室



介護を想定したAユニットの個別浴室、車いすの取り回しや介助のしやすさを考慮して在来浴室とし、より広い洗い場空間を確保している。

## 建築概要

名称	菜の花ホーム／カフェ・ショップ花鈴（かりん）
所在地	京都府与謝郡与謝野町岩滝1256
施主	社会福祉法人よさのうみ福祉会
設計	株式会社ゆう建築設計
施工	金下建設株式会社
竣工年月	2016年5月

## 水まわりの特長

**<建物の特徴>**  
「菜の花ホーム」は、京都府北部の閑静な住宅地に建つ障がい者グループホーム。天の橋立に程近く、自然豊かな環境にある。障がいの重い方が暮らすホーム(9名)とショートステイ(2名)の隣には地域交流スペースを併設。地域住民と交流しやすいようにこの配慮から施設の周囲にはあえて塀を設けず、敷地の中心部に公共の道「なかみち」を設置することで施設を地域の町並みに自然と溶けこませている。全11室は介護を前提としたAユニット(5名)と自立を想定したBユニット(4名)に分かれており、ショートステイ2室を備え、ストレスの少ないホーム生活が送れるように配慮されている。また、同じ敷地内の地域交流スペースは、「カフェ・ショップ花鈴(かりん)」と名付けられ、カフェ・着物リサイクルショップ・工房機能を持っている。

**<水まわりの特長>**  
ユニットの特性により2種類の水まわり器具を選定。手厚い支援を前提としたAユニットのトイレには体を前で支えることができる前方ボードを設置。また浴室には天井走行リフトを備え、入居者と介護者双方の負担軽減を図っている。自立を前提としたBユニットのトイレには便器への立位移乗を配慮した手すりを設置し、浴室は自立で安全性の高い介護ユニットバスを設置。トイレは便器後方からアプローチしやすいようにドア位置を設定している。